

	鹿児島大学 人文科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	法文学部（第1年次：395名、第3年次：10名） 人文社会科学研究科（M：28名、D：6名） 臨床心理学研究科（P：15名）
沿 革	明治34（1901）年 第七高等学校造士館設置 昭和24（1949）年 鹿児島大学文理学部設置 昭和40（1965）年 文理学部を改組し法文学部設置 昭和61（1986）年 人文科学研究科設置 平成10（1998）年 人文科学研究科を改組し人文社会科学研究科設置 平成19（2007）年 臨床心理学研究科設置
設置目的等	<p>昭和24（1949）年に、第七高等学校の継承を目的として、文理学部が設置された。</p> <p>昭和40（1965）年に、社会や文化に関する確かな知識と幅広い教養を有し、現代社会の諸問題に適切に対処できる能力をもつ人材を養成することを目的として、文理学部を改組し、法文学部が設置された。</p> <p>昭和61（1986）年に、より高度の学際的・実践的な人文科学の教育研究に取り組むことを目的として、人文科学研究科が設置された。</p> <p>平成10（1998）年に、より高度の学際的・実践的な人文社会科学の教育研究に取り組むことを目的として、人文科学研究科を改組し、人文社会科学研究科が設置された。</p> <p>平成19（2007）年に、臨床心理士養成に特化した独立研究科として、個別支援、集団支援、地域支援、危機介入支援のできる人材、及び地域文化を視野に入れた心理臨床ができる人材を育成することを目的として、臨床心理学研究科を設置した。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>鹿児島大学における人文科学分野においては、真理の探究を図るとともに、鹿児島県を中心とした九州地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p>

【教育】

(学部)

- 人文科学分野の教育研究を通じて、専門知識・技能を備え、長期的視野に立った批判的思考力や自己表現能力、高度な職業能力などを有し、広く社会で活躍できる人材を養成する。
- このため、鹿児島市内の企業・公共施設を取材し、テーマに沿った映像制作実習・発表を行う「取材学習を取り入れた循環型初年次教育」によるフィールド学習や、CRL (Cumulative Record of Learning) システムを利用した学生ポートフォリオにより、コミュニケーション能力・自己表現能力の早期教育に取り組んでいる。
- これらの取組を通じて、平成 24 年度に実施した外部評価では、実践的なカリキュラムや学習履歴の可視化等について、5点満点中4点の評価を受けている。
- 今後、学部横断的な「法文総合科目」を充実するなど、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等を整備すること、また、これらの取組の実施だけではなく、可視化した資質や能力に応じた取組の成果や効果等を適切に把握していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 人文科学における高度な専門的知識を基に、国際的視野と明確な問題意識を持って研究を遂行し、社会及び地域に貢献できる高度な能力を身につけた人材を養成する。
- このため、奄美市及び徳之島町に「奄美サテライト教室」を開設し、地域に立脚した研究と地域に貢献する人材の育成に取り組んでいる。
- 今後、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、地域社会との連携をいかしたカリキュラム改革などにより、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

(専門職大学院)

- 近年の我が国における複雑かつ多岐にわたる心の問題を適切に支援できる臨床心理学分野の専門職業人を養成する。
- このため、講義・演習・実習の三位一体の授業体制を執るとともに、医療・保健領域、教育領域、福祉領域の諸機関において幅広い学外実習を行っている。
- これらの実践的かつ多様な現場実習を通じて、臨床心理専門職への就職率 100 %を維持している。
- 今後、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、研究科設置の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

【研究】

- 南九州と南西島嶼（とうしょ）域についての人文科学分野の研究実績をいかし、「奄美サテライト教室」等を拠点としたフィールド調査に取り組んでいる。

臨床心理学分野では、臨床心理実習の客観的評価方法の構築及び地域支援に係る研究に取り組んでいる。

- 今後、人文系共通技能の構築で編成された研究グループと地域の諸機関との連携を強化するなど、地域貢献を目指した総合的な研究を組織的に推進するとともに、鹿児島県を中心とした九州地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- 「奄美サテライト教室」を開設し、大学院の授業科目を開講するなど地域のニーズを踏まえた社会人教育を行うことにより、奄美諸島で活躍する人材養成及び地域振興に寄与する。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織の在り方、規模等の見直しに取り組む。また、大学院の定員未充足率の改善のため、魅力あるカリキュラムの再構築、定員規模の見直し等に取り組む。